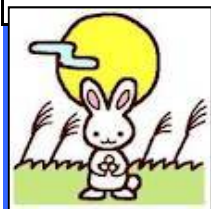


鈴木 のりこ応援団だより

2012年 秋号
(第57号)

発行 のりこ応援団
連絡先 (鈴木)
TEL 57-0450
FAX 54-0323

女性を議会に送ろうよ



W選挙!

市長・市議選の日程決まる!

来年 5/19(日)~26(日)

告示 投開票

のりこ&のりこ応援団、引き続きがんばります!



佐久島たんけん記 (7月23日、応援団お出かけ企画)

朝夕のさわやかな風に、ふと気がつくと、あれだけ騒がしかったセミの声がしません。何だか寂しい気がします。もう秋ですね。のりこ応援団のみんなで行った佐久島の海が、私の夏の思い出です。

佐久島は自然と生活とアートが溶け込んだ、ゆるやかな時間を楽しめるところでした。「佐久島たんけん隊」は総勢13名。そのうちの6名の方が応援団の行事には初めて参加された方々でした。

太陽と島の大自然のもと、のりこさんと歩きながらの市政談義。ふつふつと湧き上がる疑問を、ここなら話せると言って下さった方、やっぱり直接話すって大事なあと実感しました。

自分の目で見て体験する「お出かけ企画」をこれからも企画します。お楽しみに!!

(代表 石川 恵子)



お星塚ハウスでピース



ラインガーデンの時計の神



海辺で記念写真です。こんなに設備もいいわ!

この春に開業した「佐久島クラインガルデン(畑つき貸しガハウス)」では、管理人さんから利用状況を説明してもらいました。競争率はなんと10倍だったそう(今年の方は締切り済み)管理棟では、誰でも休憩ができるし、予約制で海鮮バーベキューも楽しめるそうですよ。

9月議会報告～のりこの行革、



✓ **1つの施設で複数のサービスを！**

✓ **幼稚園の給食、隣の小学校で一緒につくろうよ！**

合併で財政がさらに厳しくなるなか、1つの施設で複数のサービスをしていくことで合理化と経費削減をはかろうというのが「のりこの行革」です。

提案は、①幼稚園給食を小学校の給食室でまとめてつくろう。

②3町の給食センターはひとつにまとめ、お年寄りや障害者への給食も。

✓ **今の現状は・・・**

西尾幼稚園と西尾小はすぐ隣合わせ。西小給食室で幼稚園食をつくれればいいじゃん。現在、西尾・鶴城・平坂の3つの幼稚園は、保育園と違って給食室がなく、遠く半田や大府の民間業者がつくったものが運ばれてきています。

旧市の各保育園では、自園の給食室で「地産地消」、アレルギー食への配慮などもしっかり行われているのとは比べると幼稚園の給食はいかにも貧弱。保護者からたびたび見直し要望が出ていましたが(15年前の署名運動にはのりこも参加)、市はちつとも動かなかったのです。

✓ **国もサービス格差をなくす動き・・・**

ところが、近年、国の施策「幼保一元化」や「こども園」への動きは、幼稚園と保育園の違いをなくすよう求められており、幼稚園での延長保育なども始まっていますよ。

✓ **西尾幼稚園と西小、一緒に給食つくれるじゃん！**

実は、西小では、最大900食の提供能力がありますが、今の児童数は660。西尾幼稚園は220食ですから、十分に対応可能です。まずは、すぐ出来るところから始めましょうよ！引き続き、鶴城・平坂の2幼稚園についても働きかけていきます。

✓ **合併で急浮上した問題～一色の給食センターが危うい！**

一色の給食センター(1日3000食を提供)が何と築45年。建物の耐震性が危ぶまれているのです。実は旧一色町では、ずっと問題にされながら、金がかかるのを理由に、耐震診断をも先延ばし…。
で、いよいよ危うい状態なのです。



今の場所に建て直すのか、それとも、新しい場所を捜すのか、4～5億円、へたすりゃ10億円以上もの大仕事です。でも、やらなきゃしょうがない！

一色だけでなく、幡豆の給食センターも、じきに寿命がくるといいます。あ～あ！

✓ **3つの給食センターはまとめて、サービスの拡充を・・・**

そこで、のりこは、3町の3つのセンターをまとめ、さらに、先進地のように在宅高齢者や障害者への給食も提供してはどうかと提案しました。

新たな施設建設は負担ですが、いろんな部課がかかわって「市民へのサービス」を増やすことができれば結果的に「低いコストで大きな効果」が可能になります。

✓ **市の答弁は、とても前向き！！ いい感じ！！**

一色については、今年中に耐震診断結果が出るので、教育委員会だけでなく福祉部・子ども部など関係する部みんなで知恵を出し合い、さらに新市の給食計画を作っていくことに。



23年度決算 市長は、どこまで消防団を甘やかすのか！！



3団長、「お金を返さない！」を無視！



➤➤市の監査委員が交付金の不適切な用途を指摘！

「消防団の通夜や葬式、PTAへの来賓出席などは消防団活動とは言えない。重複支出も含め、不適切な支払いは市に返還し、訓練の水増しや紛らわしい使い方は修正しなさい」と、市長に改善を勧告したことは、初夏号でお知らせした通りです。

ところが、団長たちは、これを完全に無視。2,854万円を、全額使い切ってしまったことが判明！ 不適切と指摘された上半期の部分の返還も、決算では修正されていませんでした。

✓行革?!…「そんなの関係ねえ〜」???

そればかりか、「公費での宴会」が明らかになった23年下半期は、訓練や点検が山ほど増える不自然さ。これまで年に2回だった消火栓点検は20回以上…、車両点検も訓練時に一緒に済ませられるのに、わざわざ別に30分だけやって追加日当をつけるなどなど、『行革』なんて、まるで「そんなの関係ねえ〜」???

さらに、吉良消防団では赤穂義士の追善供養に東京まで出かけたたり、地元議員との会合や、議会傍聴にまで日当を付けるお手盛り。ホントに何でもありに驚くばかりです。市長は「消防団の人たちはよくやってくれているから」と言いますが、だからといって何をしても許される…というもんじゃないでしょ！！

✓1年間、出席0(ゼロ)が18人も…

292人の団員中、1年間に1度も出ない人が18人にも上っています。また、1~2回出ただけとという人も。だって月20日以上ものひんばんな訓練、明け方からの特訓etc、会社勤めや自分で仕事している人では、そんなに出勤や訓練できませんよね。「名前だけでいいから」との入団勧誘もある…との噂を裏付ける結果に思えます。

仕事でなかなか行けないよ！

ちなみに、こうした実情についての調査や訓練の妥当性についての検証は全く行っていないというのですから、消防本部の実態把握や管理監督もいい加減。市民感覚からはほど遠い話で、到底、納得がいきません！！
さらに「監査請求」でチェックしていきます。(➡共鳴されん方は、のりこまでご連絡を！)

❖今年度は、上記「交付金制度」は無しに、しかし正規の費用弁償予算は増額！

✓さらに、9月議会では一律2,800円から下表のように改定されました。

費用弁償 区分		9月まで	⇒	24年10月から	
火災・風水害・警戒出動	4時間以下	2,800円	⇒	4時間以下	3,000円
	4時間超			4時間超	6,000円
訓練その他の出動	4時間以下	2,800円	⇒	4時間以下	2,000円
	4時間超			4時間超	4,000円

✓市長は、560万円の削減を見込んだと言いましたが、果たしてそうなるでしょうか…!?

✓ところで、23年度決算～財政数値は大幅に悪化✖

①財政力指数 1.01⇒0.95

②公債費比率 6.7⇒8.3

③公債費負担比率 9.1⇒11.3

④義務的経費比率 44.8⇒49.3



10月21日(日) バザー 開店～

マツイ理容店 駐車場にて (花ノ木小の北50m)

- ✓ OPEN 13時半～
- ✓ 萬物バザー、
- ✓ 'のりこカフェ' オープン…香り高いコーヒーと美味しいクッキー、
のりこのおしゃべりも一緒にお楽しみ下さい。
- ✓ <<みなさまにお願い>>
おうちで眠っている「お宝」、バザー品にご提供いただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

✓ 連絡先 石川(090-3444-7500) 加藤(56-2418)
杉田(56-6634)夜間のみ のりこ(FAX54-0323)



12月の議会ウォッチング すべて10時開始、傍聴できます。

日付	曜	会議名	議題	備考
11月30日	金	本会議	議案上程	
12月3日	月	〃	一般質問	のりこさん登壇予定
12月4日	火	〃	〃	
12月5日	水	〃	〃	
12月7日	金	文教委員会	議案の審議	
12月10日	月	厚生委員会	〃	
12月11日	火	経済建設委員会	〃	
12月12日	水	企画総務委員会	〃	
12月20日	木	本会議(最終)	討論・採決	

✓ 詳しくは議会事務局 (56-2111) にどうぞ。

- ✓ 応援団へのカンパ大歓迎・・・鈴木のりこ応援団 〒振替口座00870-1117202
バザー会場でも郵便振替でも受け付けいたします。どうぞよろしく。
- ✓ のりこ出前いたします・・・いつでもご連絡下さい。何でも聞いて下さいね！
- ✓ のりこ応援団例会・・・毎月第3土曜夜7時半～。場所のはのりこ事務所 どなたでも大歓迎。
どうぞお出かけ下さい。
- ✓ のりこホームページ 最新情報を更新中。こちらへもお出かけを！！ 質問はメールでどうぞ！